

交通問題の解決の方向性



自動車交通問題を解決するためには、交通施設整備と自動車交通需要の調整をバランスよく総合的に実施することが重要です。
外環の整備は、有効性、効率性、実現性の高い施策といえます。

■ 大都市東京の活動を支えるため交通問題の解消が不可欠です。

東京は世界有数の大都市であり、経済の中心地として、高度な都市機能が集積しています。一方、都市への集積に伴い、道路の渋滞や、自然が少ない生活環境などのデメリットも被っています。

居住者の生活と経済の発展を両立していくためには、「交通」の観点から首都圏の自動車交通問題に対応するとともに、複雑で大規模な交通ニーズに的確に対応し、大都市の活動を支えていくことが必要です。

交通政策の目的

現状の問題を踏まえて、首都圏を支えるための交通政策の目的としては、次の4つが重要であると考えられます。

①人・モノの移動ニーズへの対応

大都市としての高度な経済活動と、利便性の高い都市生活とを支えるため、複雑化・大規模化する人・モノの移動ニーズに対応していくことが必要です。

②移動の質の改善

国際的なビジネスから高齢者の移動まで、様々な移動の質的ニーズに対応し、高速性や定時性、快適性、安全性など高度な交通サービスが確保され、都市的服务の高度化に対応していくことが必要です。

③環境の改善

自動車交通に起因する自然環境や生活環境の悪化を改善することが必要です。

④災害のリスク回避

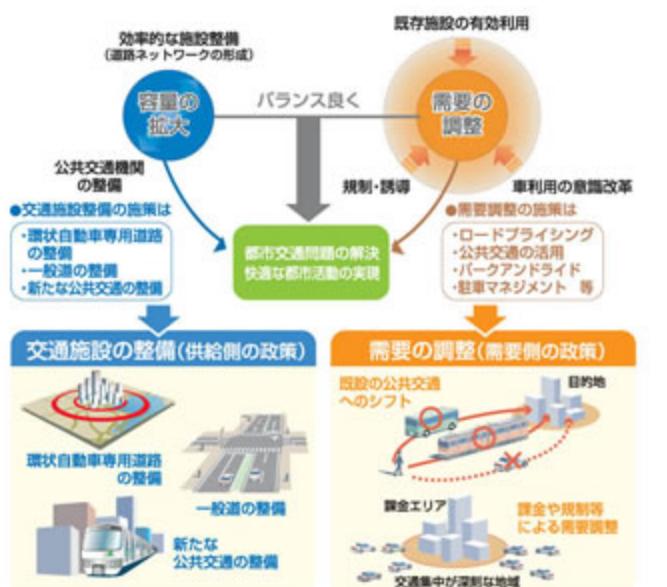
災害に対し、居住者の生命や財産を守り、大都市の諸機能が失われることがないように備え、一旦災害が発生した場合の物資輸送や復旧が迅速に行なうことができるよう、災害に強い交通網とする必要があります。

このような4つの目標を実現するための交通施策は、有効性、効率性、実現性を有する必要があります。

■ 交通施設整備と自動車交通需要を調整するための施策をバランスよく総合的に実施することが重要です。

交通施設整備(供給側の施策)には、環状自動車専用道路の整備や一般道の整備、新たな公共交通の整備などが考えられます。一方、需要の調整(需要側の施策)には、自動車利用者を既設の公共交通にシフトさせる施策や、ロードプライシングなどの課金や規制による施策などが考えられます。

これらの施策をバランスよく、総合的に実施することが重要です。



■ 環状自動車専用道路の整備は有効性、効率性、実現性の高い施策です。

環状自動車専用道路の整備は既存の道路の効率的利用を促進し、道路の機能分担を図ることができます。また、沿道への環境影響対策やコンセンサスの形成が必要ですが、総合的にみて効率性や実現性が非常に高いと考えられます。

幹線道路の整備を行わず、需要調整等の施策を講ずるだけでは、通過交通の排除や物流ニーズへの対応は困難であり、別の新たな問題が生じる可能性があるなど、交通問題の根本的な解決は困難です。

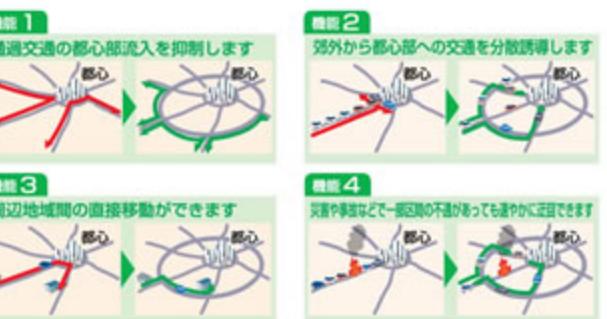
外環整備のねらい



外環整備により、幹線道路をネットワーク化し、通過交通の排除や分散導入により、放射道路や一般道の交通を改善し、さらに都市構造の再編に貢献します。こうした効果が見込まれる外環は、東京の都市再生に欠かせません。

■ 道路のネットワーク化により多様な機能を実現します。

外環は、放射方向の道路を効率的にネットワーク化し、通過交通の都心部からの排除、郊外から都心部への交通の分散誘導、非常時の代替路の確保など、多様な機能を発揮します。



■ 道路の機能分担の適正化が図られます。

環状自動車専用道路である外環は、放射方向の自動車専用道路に集中した交通を適正に分散させ渋滞を緩和させます。その結果、幹線道路を利用する通過交通が自動車専用道路に転換することで、幹線道路の渋滞が緩和し、さらに生活道路に進入している通り抜け自動車は幹線道路を利用できるようになります。このように、それぞれの道路は、その機能に見合った交通が利用することになります。

放射方向の自動車専用道路や幹線道路を利用する通過交通が環状道路に転換

▼ 放射方向の自動車専用道路や幹線道路の混雑が緩和

▼ 幹線道路の渋滞を避けるため生活道路に侵入していった交通が幹線道路を利用

▼ 生活道路の安全性が向上

■ 効率的に大量の移動ニーズに対応します。

自動車専用道路である外環は、信号交差点や路上駐車が無く、沿道とのアクセスが制限されており、高速かつ大量の交通を処理することができます。また、走行空間が歩行者や交差交通と分離されているため、安全に走行できます。そのため、効率的に大量の移動ニーズに対応することができます。

■ 都市機能の選択的分散と、外環の整備による拠点のネットワーク化が図られます。

東京都区部への過度の都市機能の集中を是正するために、さいたま新都心や幕張新都心など拠点への都市機能の選択的分散を進めています。これにより、交通渋滞や環境への負荷、通勤混雑の軽減、災害時のリスク回避等が可能となります。

外環は、都心の交通問題を改善するだけでなく、広域的な交通ネットワークの強化を通じ、こうした拠点間のネットワークを形成し、連携を強化することにより、効果的な都市機能の分散と都市構造の再編を促進します。

